

令和4年度 学校評価アンケート結果から

保護者回収数 246/671(児童数)

1月、保護者と児童を対象に、学校生活についての学校評価アンケートを実施しました。今年度から2点、大きく変更しました。

1点目は、アンケートの設問内容を見直しました。中期学校経営方針の「重点取組分野」の項目に対応した設問にし、本校の学校教育目標への取組状況を直接振り返られるものとなりました。

2点目として、アンケートを Google フォームでとることを試みました。保護者の方がより手軽に答えられ、さらに働き方改革の観点から集計の時間短縮ができると考えました。ただ実際は、昨年度81%から37%に回答率が大幅に下がりました。今後、アンケートだけでなくお便り等の電算化にも繋がるよう、発信の仕方を工夫し、取り組んでまいります。

集計に際しては、右のような4段階評価とし、自由記述の欄にも、様々なご感想、ご意見を書いていただきました。結果をもとに総合的に考察し、次年度の学校経営方針に活かしていきたいと考えています。

<4段階評価>

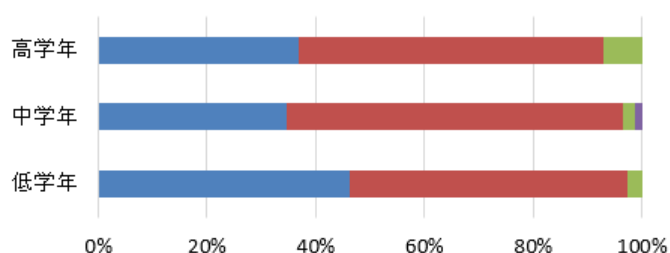
- A...そう思う
- B...まあまあそう思う
- C...あまりそう思わない
- D...思わない

学校評価アンケート(保護者・子ども)集計結果

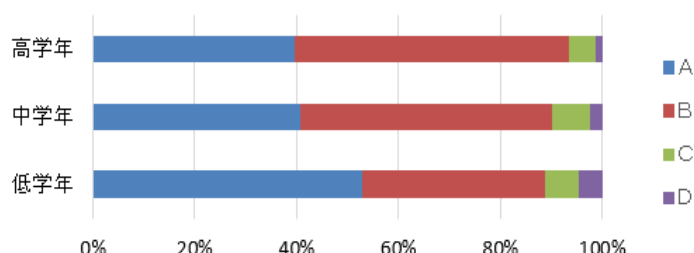
保護者

児童

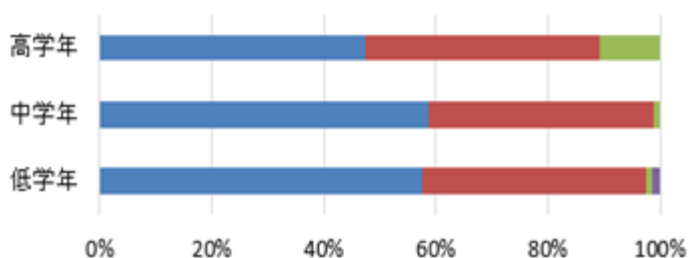
(設問1) 学校教育目標「健康を見つめ・つくる子 活かし・広げる子」は、実現されていますか。



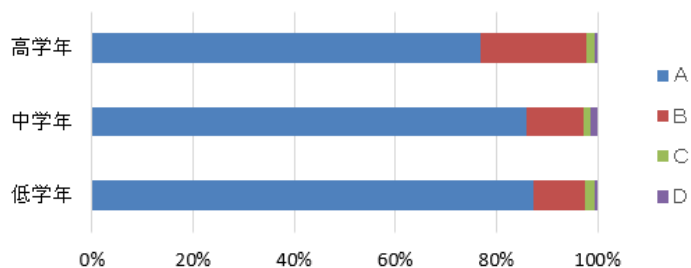
(設問1) 自分は、学校教育目標の「健康を見つめ・つくる子 活かし・広げる子」に、近づいていますか。



(設問2) お子さんは学級集団の中で様々な経験を通して、自分や友達を大切にすることを育てていますか。

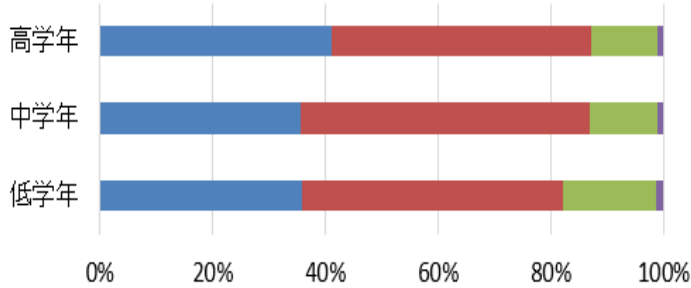


(設問2) クラスや学年、友達と、いい思い出ができましたか。

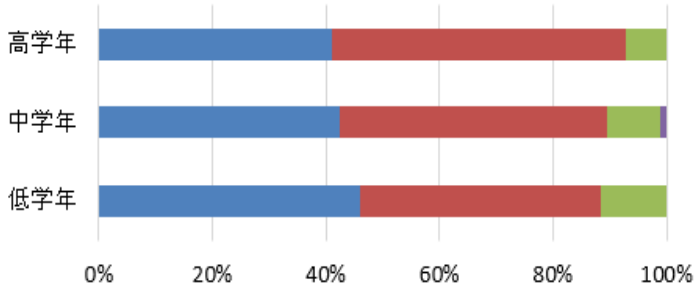


保護者

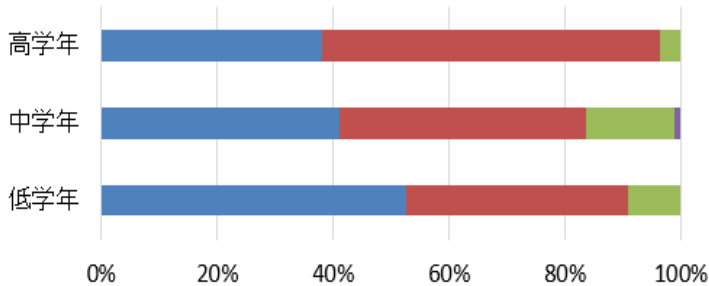
(設問3) 子どもたちは、すこやかTVを活用した指導や、歯磨き週間の取組によって、基本的な生活習慣を確立することができますか。



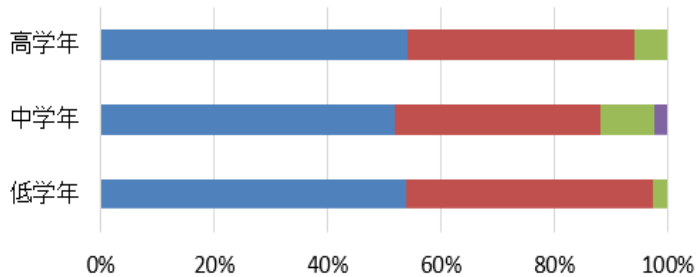
(設問4) すこやかタイムや長縄の取組によって、体力向上に進んで取り組む態度が養われていますか。



(設問5) お子さんは、自然豊かな環境や地域の方とのかわりの中で、伸び伸びと活動ができていますか。

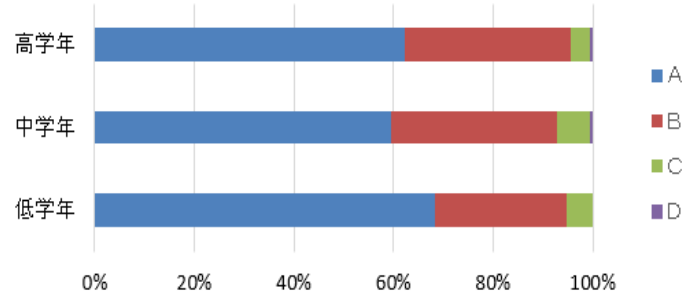


(設問6) 学校は、お子さんにとって安心できる場になっていますか。

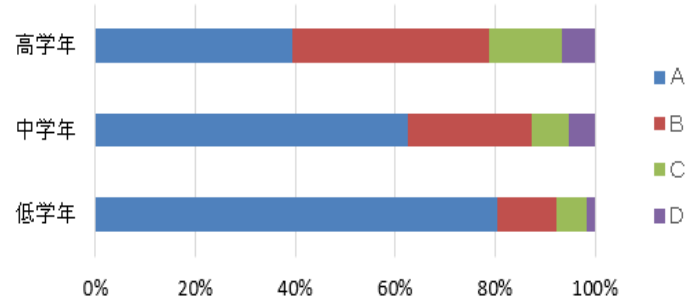


児童

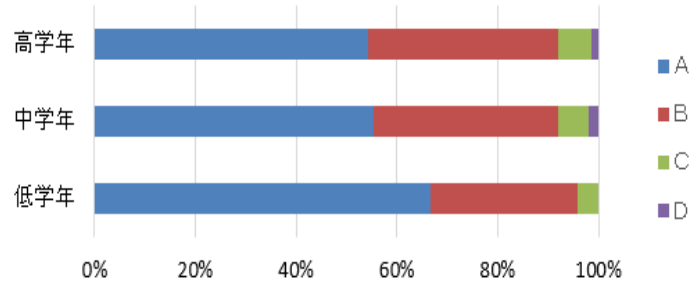
(設問4) 歯みがきや体を動かすことが、習慣になっていますか。



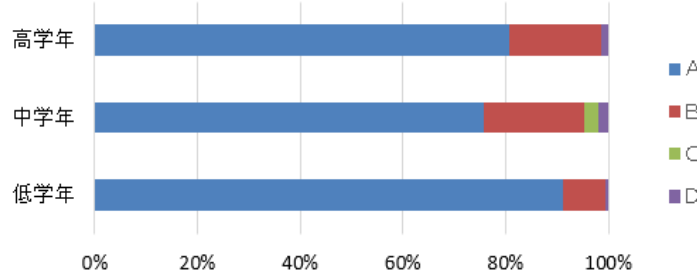
(設問5) すこやかタイムや長縄は、楽しいですか。



(設問6) 豊かな自然(広い運動場や水族館など)やまちの人と、すすんでかかわっていますか。(あいさつや校外学習など)



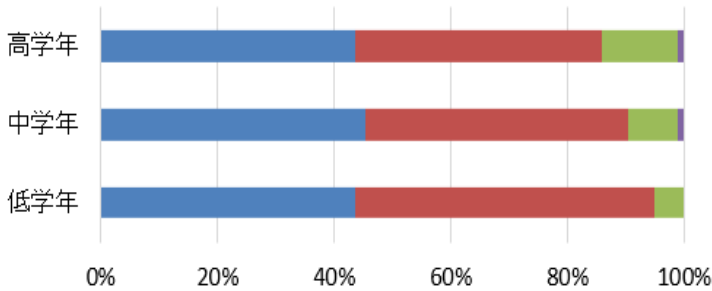
(設問3) 自分も、友達も大切な存在だと思いますか。



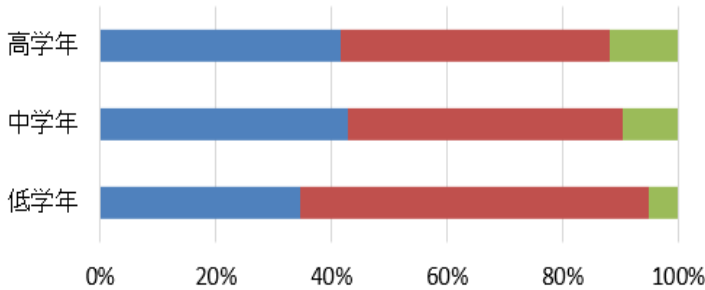
※左右で比較しやすいように、一部設問の順を変えて掲載しています。

保護者

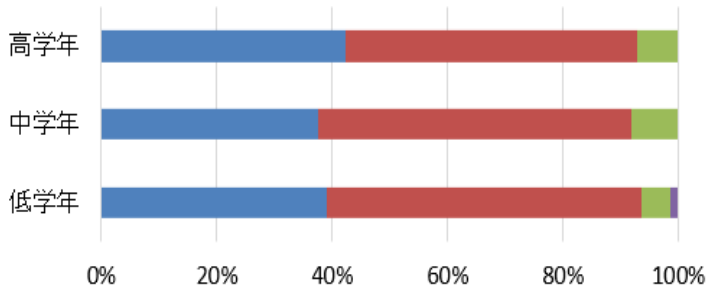
(設問7) 学校は、一人ひとりに寄り添った対応に努めていますか。



(設問8) 学校は、子ども一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしていますか。

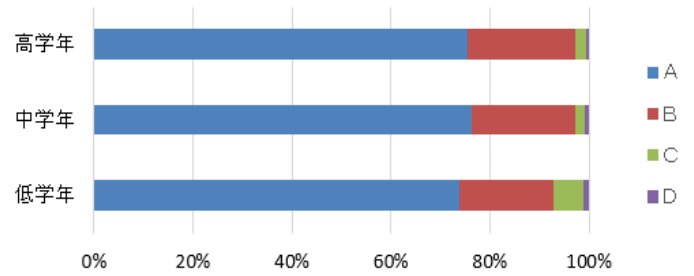


(設問9) お子さんは、授業を通して友達とかかわり合いながら問題を解決する力がついていると思いますか。

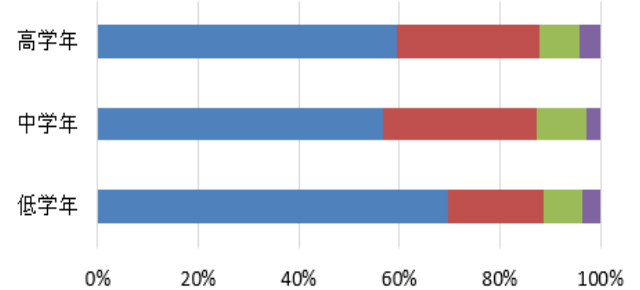


児童

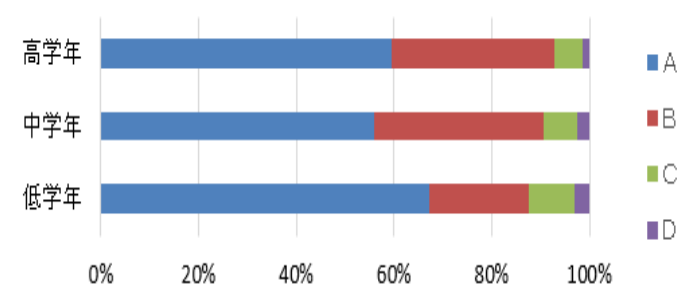
(設問7) 先生は、自分の話をしっかり聞いてくれますか。



(設問8) 学校には、困った時に話せる大人がいますか。



(設問9) 授業の中で、考えたり、友達と意見を交換したりすることは、楽しいですか。



【自由記述より(抜粋)】 ○…肯定的な意見 ▲…その他

児童

- 学校がたのしい。
- 授業がたのしい。
- 友達と遊ぶのが楽しい。
- 学活の時間、自分の意見を言うのが楽しい。
- 校庭が広いので、外でいっぱい遊びたい。
- 体育でチームと協力できた。
- 中休みに、みんなで鬼ごっこするのが楽しすぎます。
- クラス全員で遊んでいるときが、一番楽しい。
- 授業が、どの先生も分かりやすく教えてくれていい。
- あと一年で卒業してしまうのが悲しい。
- 授業で分からない問題が解けるとすっきりします。
- 長縄で記録を出せてうれしかった。
- すこやかタイムは、学校目標として、いい取り組みだと思う。
- ▲自分の名前をほかの人に呼び捨てにしてほしくない。
- ▲もっと先生に話を聞いてほしい。
- ▲ろうかを走っている人と衝突しそうになる。
- ▲中休みを増やしてほしい。
- ▲ちゃんと運動会がしたい。
- ▲ペア学年などの自分の学年じゃない学年と交流をふやすべきだと思う。そうすれば間門小全体が知っている人が多くなり学校が楽しいと思う。

保護者

- 学校で何かあった場合、個別に連絡頂けるのでとてもありがたいです。
- 先生達がみなさんお忙しそうです。もう少し作業を減らして差し上げたいです。
- 学校は、感染症予防対策など気を遣うことばかりで今年度も大変だったと思います。しかし、制限がある中でも少しずつ行事が復活する等、子供たちにとっては、楽しかったことも沢山あったと思います。
- とても丁寧に対応して頂きありがとうございます。お陰様で学校に居場所ができ、通える時は楽しそうに帰ってきます。
- 娘たちは楽しい経験、苦しい経験をしながら日々成長していると感じています。
- 心配事があったとき、学校を休んだときなど、丁寧に向き合ってくださいるので感謝しています。
- 広い運動場で伸び伸びと体を動かすことができ、体力がついてきたなあと頼もしく思います。
- ▲お知らせ等の紙配付物を電子配信頂けると助かります。
- ▲登下校について、指導されていると思いますが、より一層の指導お願いします。家庭で指導すべき事ですが。
- ▲下校時刻以降は、学校の電話が中々繋がらない事があり不便を感じる事があります。
- ▲給食後の歯磨きを復活させてほしい。
- ▲何を目的とした三者面談かがわからず戸惑いました。

※この他にもたくさんのご意見をいただきました。今後生かしていきたいと思っています。

❖結果を受けて❖

- 設問1の学校教育目標に関する設問では、およそ9割の保護者児童がAやBと回答としています。昨年度まで、アンケート等で学校教育目標を直接的に尋ねる設問はありませんでしたが、本校で柱としている健康教育が周知され、目標もある程度浸透していることが分かりました。わずかですが、高学年になるほどこの割合が上がり、子どもたちの意識が高まっているのがうかがえます。今後も、体育科・すこやか学習をはじめ、すこやかテレビ、すこやかタイム、学校すこやか会議等、健康教育を積み重ね、こちらからもその意図や成果について積極的に発信していく必要があると感じました。
- 児童の設問2についてですが、Aの割合がどの設問よりも高く、クラスや学年、友達と、充実した学校生活を送れている傾向が強いことが分かります。A・B合わせると全体の98%にのびります。コロナ禍も3年目に入り、少しずつ日常を取り戻しつつあり、運動会や宿泊体験学習・遠足だけでなく、日々の学校生活全体を通して、子どもたちが充実した日々を過ごしていることがうかがえます。
- 児童の設問5では、「すこやかタイムや長縄は楽しい・まあまあ楽しい」と回答する児童が、高学年になるにつれ減少します。Aの割合だけで見ると、低学年80%、中学年62%、高学年40%と、高学年では半数に届きません。年齢によって、興味・関心をもつことも、体の成長段階も変わるので、理解できる部分はありますが、「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」と体育科の目標にもあり、本校の健康教育の目指すところを考えると、この結果は放っておくことはできません。どの学年にも運動の楽しさや心地よさを感じることができるプログラムを設定したり、子ども一人ひとりに合った課題が設定できるための手立てを講じたりする必要があると感じます。
- 児童の設問8・9では、Aと答えた児童の割合が少し低いことが気になります。併せて、保護者の設問7・8の結果からも分かるように、学校が一人ひとりの児童と、よりじっくりとコミュニケーションをとることが求められています。今後も職員に対して特別支援教育研修を行い、子ども一人ひとりを理解し、個に応じた指導のあり方等、職員の学びの機会をつくり、常に新しい知識を増やししながら、多様なケースに対応するスキルを高めていくよう努めたいと思います。



今年度は設問内容を変更したため、
経年変化を見ることはできませんでした。
今年度のデータを基にして、来年度は変化にも
着目しながら考察をし、学校経営に
生かしていきたいと思います。